

拠出金名：太平洋諸島フォーラム拠出金

国際機関等名	太平洋諸島フォーラム (英文名称・略称) Pacific Islands Forum (PIF)					
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	⑧(その他)		
所轄官庁担当局課名	外務省アジア大洋州局大洋州課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度	22,200	200		1\$ = 111円	(2006年) 0.8	100
平成17年度	23,540	220		1\$ = 107円	(2005年) 3.2	100
平成16年度	28,611	260		1\$ = 110円	(2004年) 3.7	100
拠出上位5ヶ国・地域・機関				国際機関等の財政 (2006年(暦年)決算)		
	国名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 21,344,751ドル		
1位	豪州	5,223	40.9	当該年度の支出 23,054,468ドル		
2位	NZ	2,887	22.6	次年度への繰越 ▲1,709,717ドル		
3位	EC/EU	1,671	13.1	会計検査機関名		
4位	英連邦事務局	687	5.4	KPMG		
5位	台湾	612	4.7	(現在の構成員の出身国: フィジー)		
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>太平洋諸島諸国の政治・経済・安全保障を含む幅広い分野における地域協力の中心的機関として極めて重要である。16カ国・地域を含み、国連等の国際場裡における我が国の重要な支持基盤。毎年総会の後に開催される域外国対話において、我が国と政策対話を行ってきた。2006年5月には第4回日本・PIF首脳会議を沖縄にて開催し、日本とPIF間の新たな協力の枠組みである「沖縄パートナーシップ」が採択された。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているのか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>2004年4月にPIF改革のためのPIF臨時首脳会合が開催され、賢人グループによるPIF改革の為の評価報告書が全会一致で採択された。PIFは、地域協力強化のための機能強化に努めることとなり、鋭意実行に努めている。2007年4月に実施された日本とPIFとの年次協議において、今後、PIF拠出金事業と太平洋島嶼国開発基金事業のより一層の連動をはかり、我が国官民の支援によるPIF事業を全体として、効果的に実施していくことが必要であるとの認識で一致した。</p>						
邦人職員数	0人	当該機関の職員数及び		62人		
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体にしめる率		0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職員氏名		備考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>PIFと我が国の協力により設置している南太平洋経済交流支援センターの所長以下4名の職員は全て日本人であり、PIFそのものへの邦人職員の送り込みは現在検討していない。</p>						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。